



どんな研究？

- Jupyter Notebookを用いた講義演習システムの開発
- LC4RI(Literate Computing for Reproducible Infrastructure)に基づく構築手順を提供
- 演習の準備から実施、回答の回収などの演習のワークフローをサポート
- 演習内容の分析をサポート

何ができる？

- 演習環境の用意、教材の配布、回答の回収など、講師をサポートする機能をNotebookで提供
- Moodle等LMSや学認クラウドゲートウェイサービスによる認証と受講生の登録
- 大人数での実施でも安定動作可能な各種リソース制御
- 受講者の演習の活動履歴の取得

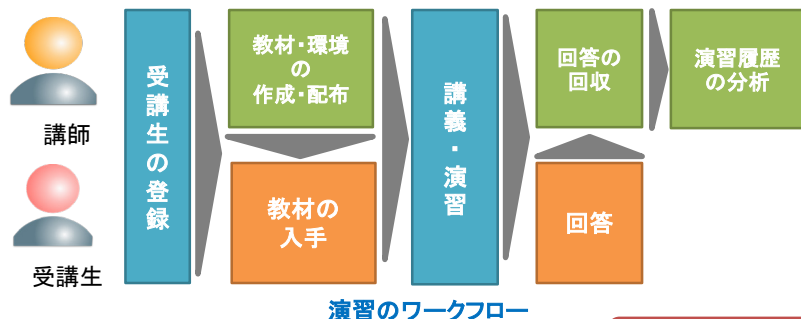
LMSまたは学認を利用して認証する
LMSのコースに外部ツールとして登録するか、学認クラウドゲートウェイサービスのグループに参加することで利用可能に

授業のワークフローに特化

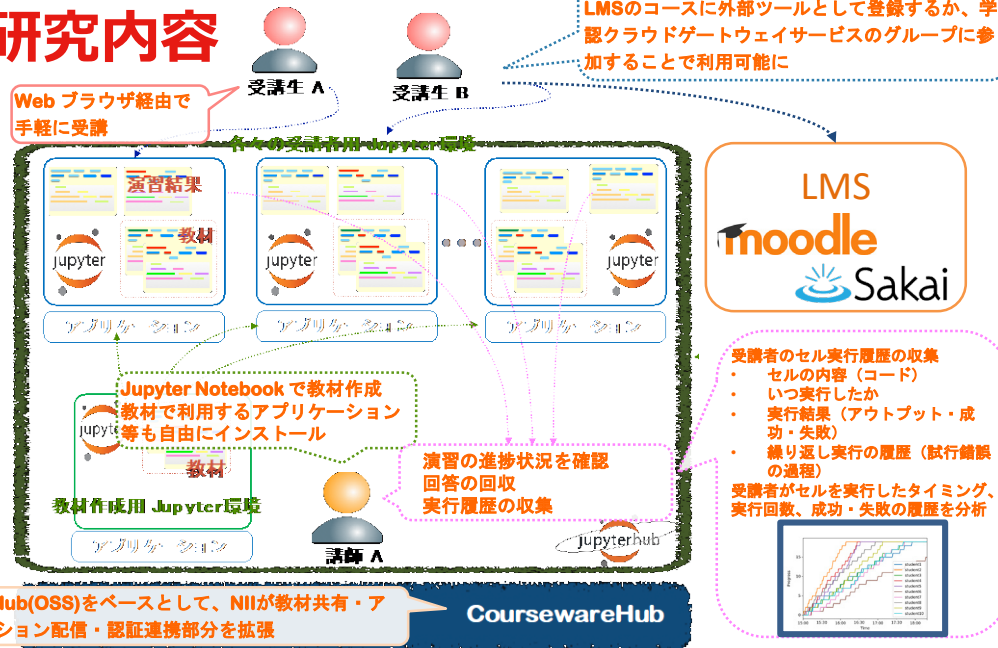
CoursewareHub

Notebook教材による演習環境の開発

- JupyterHubをベースに、演習のワークフローに必要な機能を拡張
- コースごとにJupyter環境を用意
- 講師のセルフアドミニストレーション
- 受講者の演習中の実行履歴の記録



研究内容



2020年度 室蘭工業大学・群馬大学等で試験的に利用 - 受講者数100人以上の環境でも利用可能！